

インフルエンザによる学級閉鎖について

千葉市内において、今シーズン（令和 4 年 9 月 5 日以降）初めて、市立小学校 2 校においてインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありましたので、感染予防・注意喚起の観点から、お知らせします。

1 学級閉鎖対象校

施設 (所在地)	施設 在籍者数	学年	学級 在籍者数	欠席者数	患者数	閉鎖期間	主な症状
市立小学校 (花見川区内)	813 名	1 年生	31 名	11 名	11 名 (9 名※)	1/16～ 1/17	発熱 咽頭痛 咳
市立小学校 (若葉区内)	260 名	5 年生	25 名	5 名	7 名 (3 名※)	1/16～ 1/18	発熱 咽頭痛 咳

※患者数は、インフルエンザと診断された者及びインフルエンザ様症状がある者の総数

※括弧内は、そのうちインフルエンザと診断された者の数

2 感染症発生動向調査による定点医療機関報告数（本年直近の報告数）

インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	千葉市	千葉県	全国
	本年 1 週 (1/2～1/8)	本年 1 週 (1/2～1/8)	本年 1 週 (1/2～1/8)
患者報告数	8 2	9 4 6	2 3, 1 3 9
定点あたり報告数	2. 9 3	4. 7 3	4. 7 3

※国が流行開始の目安としているのは、定点あたり 1. 0 0 です。

※国が定める流行発生注意報基準値は、定点あたり 1 0 です。

3 市民への注意喚起

市ホームページ掲載（「インフルエンザを予防しましょう」）

【URL】 https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/influenza_prevention.html



<参考>

市立小・中学校におけるインフルエンザによる学級閉鎖は、令和 2 年 2 月以来となります。

インフルエンザについて

1 インフルエンザとは？

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。

小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を併発する等、重症になることがあります。

2 インフルエンザの予防方法は？

① 帰宅時の手洗い

手洗いは、かぜの予防と併せておすすめします。

② 外出時のマスクの利用

インフルエンザにかかっている人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染するため、マスクの着用が有効です。

また、インフルエンザにかかってしまった方で、咳やくしゃみなどの症状のある方は特に、周囲への感染拡大を防止する意味から、マスクの着用が推奨されます。

③ 人混みや繁華街への外出を控える

特に高齢者や慢性疾患を持っている人は、感染したときに重症化する可能性が高くなります。

④ 室内では、加湿器などを使ったりして適度な湿度（50～60%）を保つ

空気が乾燥すると、咽頭粘膜のウイルス粒子に対する物理的な防御機能が低下するため、インフルエンザに感染しやすくなります。

⑤ 十分な睡眠及び休養をとり、バランスのよい食事をとること

日頃から、自己の免疫力を高めておくことも重要な予防策の一つです。

⑥ 予防接種を受ける

ワクチンにはインフルエンザの発症をある程度おさえる効果や、重症化を防ぐ一定の効果が期待できます。

「咳エチケット」

- 咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1 m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。